

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	農林水産部 対外戦略推進室
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	儲かる農林水産業加速化プログラム		
施策名	【重点】マーケティングの強化とブランディングの推進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	農林水産業産出額	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1,591	1,632	1,644	1,655
現況値	1,533億円/年(2018年)	実績値	1,538	1,614		
目標値	1,655億円/年	達成率	96.7%	98.9%		
備考		達成度	3	3		

指標名	県産農産物の首都圏販売金額	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	30	31	32	33
現況値	28億円/年(2019年度)	実績値	31	32		
目標値	33億円/年	達成率	103.3%	103.2%		
備考		達成度	4	4		

3 関連する事業名

- ・首都圏ブランド力強化対策事業
- ・「くだもの王国おかやま」晴苺プロジェクト事業
- ・産地ブランド育成事業
- ・もっと儲かるおかやま園芸産地育成事業
- ・岡山米販売力強化支援事業
- ・畜産物銘柄推進事業
- ・ジャージーブランド強化促進事業

4 施策達成レベル

3.5	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<p>・高級果物専門店や百貨店等と連携し、白桃やブドウなど県産農産物の積極的な販売促進を図るとともに、デジタルマーケティングによる属性等のデータを活用しターゲットを絞った情報発信により、県産果物のECサイトやポータルサイトへのアクセス数増加を図り、ブランド力の強化を進めた。</p>
---

6 今後の施策推進に向けての課題

<p>・農林水産業を将来にわたり成長し続ける魅力ある産業とするため、マーケティングを強化するとともに、競争力のある白桃やぶどうを中心として、国内外に通じる岡山ブランドのさらなる確立を図る必要がある。</p>
---

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	農林水産部 対外戦略推進室
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	儲かる農林水産業加速化プログラム		
施策名	【重点】海外でのブランド確立による輸出拡大		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	農林水産業産出額	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1,591	1,632	1,644	1,655
現況値	1,533億円/年(2018年)	実績値	1,538	1,614		
目標値	1,655億円/年	達成率	96.7%	98.9%		
備考		達成度	3	3		

指標名	県産農産物の輸出金額	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	9	10	11	11
現況値	8億円/年(2019年度)	実績値	10	12		
目標値	11億円/年	達成率	111.1%	120%		
備考		達成度	4	5		

3 関連する事業名

- ・ポストコロナマーケティング事業
- ・県産農産物輸出力強化事業
- ・岡山県農林水産物知的財産総合支援事業

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

・流通事業者と連携し、現地百貨店等において、果物や米のPRフェアを実施することで販路拡大を図るなど、農産物の輸出拡大に向けた取組を進めた。
---

6 今後の施策推進に向けての課題

・農林水産業を将来にわたり成長し続ける魅力ある産業とするため、マーケティングを強化するとともに、競争力のある白桃やぶどうを中心として、国内外に通じる岡山ブランドのさらなる確立を図る必要がある。
--

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	農林水産部 農産課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	儲かる農林水産業加速化プログラム		
施策名	【重点】桃、ぶどうの供給力の強化		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	農林水産業産出額	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1,591	1,632	1,644	1,655
現況値	1,533億円/年(2018年)	実績値	1,538	1,614		
目標値	1,655億円/年	達成率	96.7%	98.9%		
備考		達成度	3	3		

指標名	桃、ぶどうの栽培面積	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1,890	1,895	1,900	1,905
現況値	1,882ha(2019年度)	実績値	1,897	1,898		
目標値	1,905ha	達成率	100.4%	100.2%		
備考		達成度	4	4		

3 関連する事業名

- ・岡山ハイブリッド産地育成推進事業
- ・岡山白桃リノベーション事業
- ・ぶどうの供給力強化対策事業

4 施策達成レベル

3.5	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<p>桃・ぶどうの供給力強化を図るため、ハウスや果樹棚の整備等による面積拡大対策や、省力化機械の導入、気候変動対策等の取組を支援することにより、桃、ぶどうの栽培面積は目標を上回る成果を上げている。</p>
--

6 今後の施策推進に向けての課題

<p>新規就農者の確保や産地の担い手による規模拡大を推進するとともに、生産者の高齢化に対応した園地の流動化による産地の維持にも取り組む必要がある。</p>
---

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	農林水産部 農産課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	儲かる農林水産業加速化プログラム		
施策名	【重点】次代を担う力強い担い手の確保・育成		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	農林水産業産出額	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1,591	1,632	1,644	1,655
現況値	1,533億円/年(2018年)	実績値	1,538	1,614		
目標値	1,655億円/年	達成率	96.7%	98.9%		
備考		達成度	3	3		

  

指標名	新規認定農業者数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	135	270	405	540
現況値	117経営体/年(2019年度)	実績値	159	318		
目標値	540経営体(4年間累計)	達成率	117.8%	117.8%		
備考	目標値は2021~2024年度の累計	達成度	4	4		

3 関連する事業名

- ・おかやま農業担い手確保・育成プログラム構築事業
- ・担い手確保・育成対策事業
- ・酪農担い手確保対策事業
- ・おかやまの森林・林業を支える担い手対策事業
- ・青年漁業者育成確保促進事業

4 施策達成レベル

3.5	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<p>市町村や関係団体と連携し、認定農業者データベースを活用した個々の農業者に応じたきめ細かな伴走型支援等を行うとともに、酪農教育事業の支援や林業作業士・漁村リーダーの育成等に取り組んだ。その結果、新規認定農業者数は、目標を上回る成果を上げている。</p>
--

6 今後の施策推進に向けての課題

<p>支援を必要とする新規就農者や認定農業者を積極的に掘り起こし、専門家による経営改善や法人化等に向けた助言・指導等の支援を通じて、力強い担い手として育成していくことが必要である。</p>
--

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名

担当部課室 農林水産部 農産課

重点戦略	II 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	儲かる農林水産業加速化プログラム
施策名	【重点】生産性の高い農業の推進

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	農林水産業産出額	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1,591	1,632	1,644	1,655
現況値	1,533億円/年(2018年)	実績値	1,538	1,614		
目標値	1,655億円/年	達成率	96.7%	98.9%		
備考		達成度	3	3		

指標名	県産農産物の首都圏販売金額	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	30	31	32	33
現況値	28億円/年(2019年度)	実績値	31	32		
目標値	33億円/年	達成率	103.3%	103.2%		
備考		達成度	4	4		

指標名	県産農産物の輸出金額	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	9	10	11	11
現況値	8億円/年(2019年度)	実績値	10	12		
目標値	11億円/年	達成率	111.1%	120%		
備考		達成度	4	5		

指標名	桃、ぶどうの栽培面積	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1,890	1,895	1,900	1,905
現況値	1,882ha(2019年度)	実績値	1,897	1,898		
目標値	1,905ha	達成率	100.4%	100.2%		
備考		達成度	4	4		

指標名	新規認定農業者数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	135	270	405	540
現況値	117経営体/年(2019年度)	実績値	159	318		
目標値	540経営体(4年間累計)	達成率	117.8%	117.8%		
備考	目標値は2021~2024年度の累計	達成度	4	4		

3 関連する事業名

- ・岡山ハイブリッド産地育成推進事業
- ・ICT・省力・低コスト技術等実証事業
- ・担い手育成・スマート農業社会実装促進事業
- ・農地中間管理事業

4 施策達成レベル

3.9	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

## 5 施策推進による主な成果

ロボット・AI・IoT等の先端技術を活用したスマート農業技術に関する現地実証や、規模拡大に向けたスマート農業機器の導入支援、農地中間管理機構による農地集積など、生産性向上への取組を促進した。

## 6 今後の施策推進に向けての課題

担い手不足・高齢化が進展する中、本県農業の維持・発展のためには、引き続き、スマート農業の推進や農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化の促進など、より生産性の高い農業の実現に向けて取り組んでいく必要がある。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	農林水産部 畜産課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	儲かる農林水産業加速化プログラム		
施策名	【推進】畜産物の生産振興		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	肉用牛(肥育牛)の出荷頭数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	14,620	14,780	14,950	15,000
現況値	14,453頭(2019年度)	実績値	14,550	14,720		
目標値	15,000頭	達成率	99.5%	99.6%		
備考		達成度	3	3		

3 関連する事業名

- ・肉用牛広域後代検定推進事業(岡山和牛おいしさ評価事業)
- ・肉用牛生産条件特別整備事業
- ・伝統の「岡山和牛」再発見事業
- ・肉用牛肥育安定特別対策事業

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・おいしい岡山和牛への改良に向け、枝肉のオレイン酸等脂肪酸組成の測定573頭(R4)、小ザシに関連する粗脂肪含量光学測定573頭(R4)を実施した。</li> <li>・繁殖雌牛の生産基盤を強化するため、優良雌子牛の保留や繁殖雌牛の導入、及び飼料収穫機械等整備に対して支援を行った。</li> <li>・肥育農家に対して計16,080頭分(前年10,355頭)の積立支援を行った。</li> </ul>
--

6 今後の施策推進に向けての課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛肉のおいしさに関連する小ザシの育種価(遺伝的能力)を推定したが、改良に向けて、さらなるデータの蓄積が必要である。</li> <li>・飼料価格が高止まりしている状況においては、畜舎等の生産基盤に資金を向けられる農家は多くないため、自給飼料生産や生産性向上に資する事業の活用をより一層推進する必要がある。</li> <li>・肥育牛の出荷頭数については徐々に増加傾向にあるが、昨年度はコロナ禍による外食産業の消費減退に伴い、出荷頭数の目標未達であったが、令和4年度における契約頭数は前年比155%であり、今年度は達成見込みと推察される。</li> </ul>
---

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	農林水産部 林政課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	儲かる農林水産業加速化プログラム		
施策名	【推進】持続的な森林経営の推進		

2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	県産材の生産量	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	530	540	550	550
現況値	512千m <sup>3</sup> (2019年)	実績値	653	643		
目標値	550千m <sup>3</sup>	達成率	123.2%	119.1%		
備考		達成度	※5	※5		

3 関連する事業名

- ・県産材需要拡大対策事業
- ・森林クラウドを活用した新たな森林管理システム支援事業
- ・おかやま元気な森づくり推進事業

4 施策達成レベル

5.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

森林経営管理制度を担う市町村を支援するため、航空レーザー計測データや人工衛星画像を用いた森林計画図等の整備など森林クラウドを充実するとともに、森林経営の集約化や間伐、高性能林業機械の導入、路網の整備、花粉の飛散低減に配慮した再造林への支援等により、間伐3,153ha、作業道147,894m、再造林139haを実施した。また、県産材の利用促進のため、国内外での販路拡大の取組や県産材による木造、木質化等への支援、木質バイオマスの利用推進などの施策を総合的に進め、結果、ヒノキ素材生産量が全国第2位になるなど、県産材生産量の目標値を超える実績となった。なお、バイオマス燃料用の未利用材生産量は増加したが、ウッドショックによる価格高騰が生じた前年から、製材向けの生産量が減少し、生産量全体では若干減少した。

6 今後の施策推進に向けての課題

人工林資源は年々充実し本格的な利用期を迎えており、林業生産活動を通じた林業サイクルの循環の推進がますます重要となっている。県産材の供給力強化を図るための担い手の確保・育成・定着、森林経営管理制度の確実な実施のための市町村職員や林業経営体の育成、再造林率の向上に加え、人口減少による住宅着工戸数の減少が見込まれる中、木造率の低い非住宅等や横架材への県産材利用の推進が求められる。そのため、引き続き、森林クラウドの充実、間伐等の適切な森林整備、主伐や利用間伐、少花粉苗木による再造林の推進とともに、森林認証材やCLTの普及、販路拡大などによる循環資源である木材・木質バイオマスの利用を推進する必要がある。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	農林水産部 水産課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	儲かる農林水産業加速化プログラム		
施策名	【推進】水産物の生産振興		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	カキ養殖業1経営体あたりの生産額	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	2,120	2,140	2,160	2,180
現況値	1,938万円(2015~2019年までの最大値・最小値を除く3か年平均)	実績値	1,890	2,039		
目標値	2,180万円	達成率	89.2%	95.3%		
備考		達成度	3	3		

3 関連する事業名

- ・県内水産物ブランド形成事業
- ・漁場環境モニタリング調査

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

県産カキの取扱額が減少している中京圏において、取扱額の増加を図るため、県産カキの特徴や生産者のこだわり等を伝えるパンフレットを作成したほか、「岡山かき」フェアを百貨店や高質系スーパー等28店舗で実施した。また、漁場環境の変化や漁業資源の減少などに対応するため、水産物の持続的な利用に向けた環境調査に取り組んだ。

6 今後の施策推進に向けての課題

高水温の影響等、漁場環境の変化によってカキの育成が遅れ、生産量の減少につながったことから、身入り向上を目的とした試験養殖を実施するほか、中京圏での「岡山かき」のPRキャンペーンや小売店バイヤー向けの産地見学会等を開催し、販路開拓を進める必要がある。また、カキの安定生産に不可欠な漁場環境の定期的なモニタリングとその結果の発信に引き続き取り組む必要がある。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	農林水産部 農林水産総合センター
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	儲かる農林水産業加速化プログラム		
施策名	【推進】6次産業化と農商工連携の推進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	農業経営体の農産加工品の販売金額	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	2,550	2,700	2,850	3,000
現況値	2,282百万円(2017年度)	実績値	2,939	2,453		
目標値	3,000百万円	達成率	115.3%	90.9%		
備考		達成度	4	3		

3 関連する事業名

- ・6次産業化DX活用推進事業

4 施策達成レベル

3.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

6次産業化に取り組もうとする意欲ある農林漁業者等の相談支援や商品開発、販路開拓など取組段階に応じた支援に加え、コロナ禍によるオンライン需要の増大に対応し、オンライン商談やデジタルマーケティング等、デジタル技術を活用した販路開拓等の支援を行ったが、コロナ禍の外出自粛等の影響が大きく、県内の農業経営体の農産加工品販売金額は、約24億5千万円にとどまった。

6 今後の施策推進に向けての課題

関係機関と連携し、6次産業化とデジタル化ともに事業者の発展段階に合わせたきめ細やかな支援を継続するとともに、取組事例を広く周知することで、事業者の所得向上や地域振興を図る。

2023年度 施策評価シート(2022年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	農林水産部 耕地課
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	儲かる農林水産業加速化プログラム		
施策名	【推進】農林水産業を支える生産基盤の整備と長寿命化対策の推進		

2 生き生き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	保全対策に着手した基幹水利施設数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	18	26	34	42
現況値	94施設(2019年度)	実績値	20	29		
目標値	136施設	達成率	111.1%	111.5%		
備考	2022年度:123施設(達成率は現況値からの増加数で算出)	達成度	4	4		

3 関連する事業名

- ・基幹水利施設ストックマネジメント事業

4 施策達成レベル

4.0	生き生き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

既存施設の機能確保など、基幹水利施設の保全対策を計画的に進めることにより、産地の持続的発展につながっている。

6 今後の施策推進に向けての課題

今後、耐用年数を超える施設が増える中、限られた予算で保全対策を推進するためには、施設管理者等との更なる連携を図り、重要度や緊急度に応じて計画的に対策を進める必要がある。